

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		18-	13	
事業名	陸上競技場経費		会計	款	項	目
			一般	10	6	2
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課		
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	スポーツ振興係		
	3-1-4	スポーツの振興				
主要施策	①スポーツ施設の整備充実・有効活用					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、施設の計画的整備と利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）	
指標	1	年間利用者数		33,251	40,260	人	→	40,000	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度（決算）		平成30年度（決算）		平成31年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					15,411	14,696	19,831		
財源内訳	直接事業費A				15,411	13,754	18,841		
	うち一般財源				11,600	5,701	12,696		
人件費（千円）B					0	942	990		
内訳	一般職員（人・千円）				0	0.14	924	0.15	990
	臨時職員（人・千円）				0	0.01	18		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	陸上競技場とサッカー場との相互の利用等についての課題がある。
②H30年度に実施した取り組み	利用料収入増をはかるため、サッカーの公式試合(有料試合)の誘致等を行った。	④今後の改善計画	陸上競技場とサッカー場との相互の利用についての検討を行う。